



国民の森林・国有林

中部森林管理局

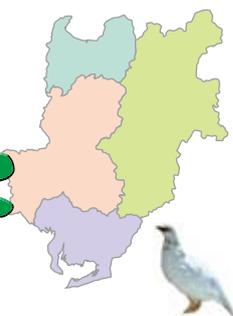
〒380-8575 長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/>

広報

# 中部の森林



# 賀正



朝焼けの爺ヶ岳

主な項目	○小禄局長年頭挨拶 .....	P 2
	○2007年 主な出来事 .....	P 4～5
	○実験林・試験地紹介 .....	P 6



この広報誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。



◆水・人の交流

管内には、信濃川、木曾三川、神通川、天竜川、庄川等の我が国有数の河川があり、下流域の水量の安定や良質な水の確保、水にかかわる要請に 대응することも国有林の大きな使命の一つと考えております。このため、上・下流域の関係者の連携のもと、長伐期化、針広混交林化など百年先を見据えた多様な森林に誘導していくこととしており、地域のニーズに合った森林整備を進めることとしていきます。

また、森林とのふれあいや森林整備等に参加するボランティア・NPO等の活動に国有林のフィールドを提供するなど、上流域と都市住民の交流や連携等の支援を行っていくこととしています。

以上、年頭にあたりまして、所感の一端を申し上げたところですが、本年が災害のない明るい職場であることを願うとともに、ご家族ともども皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

◆木の交流

地球温暖化防止対策及び災害に強い森林づくりのため、間伐等の森林整備を推進し、それに伴い生産される利用可能な木材を有効に活用することとしております。このため、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの整備・普及を国有林関係者も含めて推進していくこととしています。

また、上・下流域に所在する原木市場などの民間事業者、そして近隣の森林管理局間と情報交換を行いつつ、消費者や木材関連業界のニーズを取り入れた木材の生産・販売等を行うとともに、木材需要の動向や業界の将来展望を踏まえた対応を検討することとしています。

中部森林管理局長 小祿 直幸

新年を迎えて

「美しい森林づくり」をめざして

明けましておめでとうございます。新年を迎え、皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年の二月に「美しい森林づくり推進国民運動の展開」が関係閣僚間で了承され、関係府省庁の連携を図る中で、政府一体となった運動が展開されております。

「美しい森林づくり推進国民運動」では、三三〇万ヘクタールの間伐の実施、一〇〇年先を見据えた広葉樹林化、長伐期化、針広混交林化などの多様な森林づくりの推進をはじめ、みどりの月間・木づかい推進月間などの国民運動の浸透、間伐材使用製品の利用推進など、多岐にわたる事業を推進することとしており、中部森林管理局においてもワーキングチームを設置し、積極的な運動を展開しておりますが、今年もさらに取組を強めていきます。

中部森林管理局は、長野・富山・岐阜・愛知県の四県に所在する国有林を管轄しておりますが、「日本の屋根」といわれる日本アルプスをはじめとした、脊梁山脈を擁しています。

この地域は、信濃川、木曾三川などの源流地帯でもあり、国土の保全・水源のかん養、自然環境の保全等、私たちの生命や暮らしに欠かすことのできない森林の多様な機能を発揮している地域であります。また、木曾・東濃地方に代表される天然木曾ヒノキや人工林ヒノキ、更にはカラマツなどの産地として我が国有数の林業地帯ともなっております。

このような地域に所在する当局の立地条件を活かし、本年も森林・林業基本計画の理念に即して「木の交流」「水の交流」「人の交流」をキーワードとした具体的な取組を推進していくこととしています。

# 今年の干支は戊子えと づらのえね



今年の干支は「戊子」です。「戊子」は「つちのえね」と読み、六十干支の一番目です。

「子」は、陰陽五行で「水」性の「陽」に当たります。季節は仲冬（旧暦の十一月）、方位は北が割り当てられます。動物は鼠（ねずみ）です。

「子」の字は「ふえる」意味で、種子の中に新しい生命が芽生える様子を表しているそうです。

ねずみ年には、どのようなことが起こっていたでしょうか。

一九九六年は、野茂英雄投手がアメリカメジャーリーグのドジャースで日本人初のノーヒットノーランを達成。

一九八四年は、一万円札が福沢諭吉、五千円札が新渡戸稲造、千円札が夏目漱石を肖像とした新札が発行。

一九七二年は、沖縄がアメリカ支配化から日本に復帰。

一九六〇年は、日米安全保障条約延長で安保反対闘争が起こる。

一九四八年は、プロ野球初のナイター。

一九三六年は、二二六事件、阿部定事件発生。

一九二四年は、メートル法実施。

一九一二年は、明治天皇崩御、大正と改元。

ねずみ年（子年）生まれの人は、努力をすればするほど家系が繁栄し成功し、独立心旺盛で起業向きだそうです。

ねずみ算の言葉もあり、子孫繁栄の意味もあります。

平成二十年を迎え繁栄を期待し、今年も良い年でありませうように



今年は僕の年

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
**燕 岩**  
33  
南信森林管理署  
(各署の景勝地等を紹介)

## 南アルプスの麓に眠る廃墟

### ―燕岩―

〔南信署〕 大鹿村は、明治七年に旧鹿塩村と旧大河原村が合併してできた人口千三百人のひっそりとした農村ですが、一昔前は、人口が五千人を超えたこともあったそうです。銅を掘り出すため、また、かつて大河原国有林では営林署職員



燕岩に咲く花タマガワホトトギス



時間を溯っているかのような気分を味わうことができる燕岩

が材木を伐採するため、多くの人・物がこの燕岩の横を通っていたようです。

いまでは、その歩道も朽ち果て、険しい沢沿いをひたすら歩いていかなければなりません。しかし、沢沿いには、サワ

ラの巨木や、赤・緑・白と様々な石が散在していたり、所々に歩道や吊り橋の跡

が残っていたり、さらに、頭上には鉾山の跡らしき横穴もあり、まるで時間を

溯っているかのような気分を味わうことができます。

この一帯は水河期遺存植物のアオチャセンシダ等を含む遺存植物群落を保護す

る「燕岩植物群落保護林」にも設定されています。

皆さんも、目の前に広がる荘厳な風景を訪ねてみてはいかがでしょうか。

### 【アクセス】

最寄りの駅は、JR中央本線伊那大島駅。大鹿村役場のある落合集落を南下し、飯田市上村との境にある青木林道の入口から、沢歩きを二時間。

### 【注意】

沢歩きには危険を伴います。事前に現地の状況を確認し、経験者と十分な装備をもって自己責任のもとでのぞんで下さい。

二〇〇七年 主な出来事

◆1月◆

- 25 レクリエーションの森リフレッシュ 対策検討委員会 (中部局)
- 30 富山森林管理署新築



完成した富山署新庁舎

◆2月◆

- 5 国有林モニターによる「モニター会議」(中部局)
  - 8 中部森林技術交流発表会 (中部局)
  - 15 長野林政記者クラブ賞贈呈式 (長野市)
  - 16 治山・林道工事コンクール表彰式 (中部局)
  - 19 治山・林道工事コンクール表彰伝達式 (名古屋市内)
  - 20 木曾駒ヶ岳自然再生検討会 (南信署)
  - 26 森林管理署長等会議 (中部局)
- ◆3月◆
- 1 中日造林賞贈呈式 (名古屋市内)
  - 2 揖斐川地区民有林直轄治山事業概成式典 (岐阜署)

◆4月◆

- 15 木材販売促進「春姫道中」 (名古屋市内)
- 19 局長等会議 (長野庁)
- 24 平成十九年度業務予定を記者発表 (中部局、名古屋事務所)
- 26 森林管理署長等会議 (中部局)
- 28 「遊々の森」とこわかの森協定調印式 (木曾署管内)
- 28 「岐阜県みどりの祭」開催 (中津川市)
- 29 「みどりのフェスティバル07」開催 (瀬戸市)



南相木村森林整備推進協定調印式

南相木村内で森林整備推進協定を締結

◆5月◆

- 4 緑の募金の街頭募金を実施 (長野市)
- 12 長野庁主催「H19年度森林の市」 (東京都日比谷公園)
- 19 「長野県植樹祭」開催 (南木曾町)
- 19 「愛知県植樹祭」開催 (岡崎市)
- 23 「とやま森の祭典」開催 (黒部市)
- 24 技術開発委員会
- 26 「未来世紀へつなぐ緑のバトン育樹祭」開催 (王滝村)

◆6月◆

- 12 木材安定供給協議会中部ブロック会議 (静岡市)
- 13 高山植物等保護対策協議会 (中部局)
- 13 テレビ番組「森へ行こう」収録開始 (中部局管内)



鍋倉山で「森へ行こう」第1回收録

◆7月◆

- 14 永年勤続職員の表彰式 (長野市)
- 16 「親子で楽しむ森林散策」開催 (北信署管内)

◆8月◆

- 2 国有林野観光施設協議会総会 (長野市)
  - 9 FFG「ブナの郷カヤの平の森」抽選会 (中部局)
  - 19 第一回森林パノラマウォーク (東信署管内)
  - 31 国有林モニターの国有林視察 (木曾署管内)
- ◆8月◆
- 3 教職員森林環境教育研修会 (木曾署管内)
  - 7 教職員森林環境教育研修会 (東信署・飛騨署管内)
  - 7 森林施業現地検討会 (南信署管内)
  - 9 教職員森林環境教育研修会 (愛知署管内)



教職員森林・林業体験学習研修会

◆9月◆

4 流域管理調整官会議（中部局）  
 8 国有林・民有林連絡推進会議  
 （三重県）

13 第一回ヤツガタケトウヒ・ヒメバラ  
 モミ植物群落保護林（仮称）設定検  
 討委員会（南信署管内）

14 平成18年度決算概要を公表  
 （中部局）

18 低コスト作業システム・生産販売関  
 係打ち合わせ会議（中部局）

19 中央アルプス木曾駒ヶ岳周辺の植生  
 復元（南信署管内）

20 局長等会議（林野庁）  
 「JQAの森林」調印式（飛騨署）



「JQAの森林」調印式

29 「木曾川・森づくりin赤沢」を開催  
 （木曾署管内）

◆10月◆

1 木づかい推進月間

4 第二回森林パノラマウォーク（中  
 信・飛騨署管内）

10 報道機関の国有林視察  
 （北信署管内）

10 第二回ヤツガタケトウヒ・ヒメバ  
 ラモミ植物群落保護林（仮称）設定  
 検討委員会（中部局）

10 国有林野事業販売協力者感謝状贈呈  
 式（上松町）

11 木材利用推進要望活動（岐阜市・名  
 古屋市）

12 第三回森林パノラマウォーク（飛騨  
 署管内）

14 「ながの緑のオーナー友の会」交流  
 会開催（中信署管内）

16 「森林の絵画コンクール」表彰式  
 （名古屋市内）

18 森林管理署長等会議（中部局）  
 治山現地検討会を開催（飛騨署管  
 内）

19 グリーンボランティア・サミット  
 （東濃署管内）

23 低コスト作業システム現地検討会  
 （飛騨署管内）



低コスト作業システム現地検討会

24 ヒメバラモミ検討会（南信署管内）  
 25 林政記者クラブ国有林視察  
 （愛知所管内）

25 治山事業連絡調整会議  
 （中信署管内）

29 指導普及連絡会（飛騨署管内）  
 29 国有林野等所在市町村長有志連絡協  
 議会（松本市）

31 砂防治山交流会議（中部局）  
 31 造林現地検討会（南信署管内）

3 「未来世紀へつなぐ緑のバトンどん  
 ぐり祭」開催（王滝村）

12 会計実地検査（16日まで）  
 17 中部ブロック国産材安定供給協議会  
 （静岡市内）

27 国有林管理審議会（中部局）

◆12月◆

5 長野県産材振興対策協議会要請行動  
 （中部局管内）

10 本庁監査（14日まで）  
 10 販売連絡会議（愛媛県）  
 13 低コスト作業システム現地検討会  
 （木曾署管内）



千曲市への県産材利用促進の  
 要請行動

森林ふれあい講座				森林パノラマウォーク		名古屋シティ・フォレスター事業															
12/2	10/27	9/22	8/26	6/16	4/7	10/11	10/4	7/19	11/17	11/9	10/20	10/13	9/1	7/19	6/28	6/23	6/15	5/26	5/18	5/12	4/21
手作りリースづくり	鑑賞炭づくり体験	バードウォッチング	森の工作と紙芝居	ゲンジホタルの観賞会	しいたけ菌打ち	秋の白水湖散策	秋風の「乗鞍岳」を登る	初夏の風に吹かれて「水ノ塔」を登る	ヒノキ林間伐作業	ヒノキ林枝打作業	休養林内の下刈作業	登山道周辺の除伐作業	低木除伐作業	ヒノキ造林地下刈作業	水源林の下刈作業	外来種除去作業	巨樹巨木の歩道の整備作業	遊歩道チップ敷き作業	試験地の間伐の作業	遊歩道チップ敷き作業	樹木見本林整備
(愛知所管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)	(名古屋事務所)	(飛騨署管内)	(東信署管内)	(東信署管内)	(愛知所管内)	(東濃署管内)	(飛騨署管内)	(飛騨署管内)	(木曾署管内)	(愛知所管内)	(富山署管内)	(飛騨署管内)	(岐阜署管内)	(岐阜署管内)	(木曾署管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)

二〇〇七年に実施した  
 森林ふれあい推進事業等

シリーズ19

実験林・試験地等紹介

「スギ耐雪性試験地」



〔北信署・指導普及課〕本試験地は、豪雪地帯の造林技術を検討する一環として耐雪性スギの選抜及び比較のため、昭和四十五年北信署（旧飯山営林署）管内鳥甲国有林一〇九林班た小班に試験地を設定しました。

当時、飯山地方の民有林ではクマスギの造林が広く行われてきましたが、国有林は民有林より上部に位置し、積雪深、気温等の厳しい気象条件に耐えうる優れた品種を見いだす目的から、北陸地方を中心とするスギ系統を選定して植栽試験を行ってきたものであります。当初二箇所を設定しましたが、平成十四年度の試験地の見直しにより継続調査は一箇所としております。

○試験地の概要

面積 五・六〇畝  
植付 昭和四十五年（現在三十九年生）  
系統・品種

カナミダニスギ・タテヤマスギ・イトシロスギ・ミヨウケンスギ・タザワスギ・クマスギの六種類。

○調査内容

選定した各品種系統別、苗木の規格

別（大・中・小）に区分し設定し、調査本数は各一〇本とし、枯損率、胸高直径、樹高、幹曲がりを調査しています。

◎試験結果（三十五年生時点）

○現存率

高い品種 ミヨウケンスギ 63%

カナミダニスギ 62%

低い品種 イトシロスギ 53%

○幹曲がり（最大矢高で比較）

曲がりが大きいもの

タテヤマスギ 全体の94%

ミヨウケンスギ 60%

クマスギ 57%

曲がりが少ないもの

タザワスギ 38%

イトシロスギ 39%

○生長量（一〇年生と比較）

高いもの

カナミダニスギ 三〇一%

クマスギ 二六九%

○樹高生長率（一〇年生と比較）

高いもの

カナミダニスギ 三七三%

タテヤマスギ 二九八%

クマスギ 二九六%

まとめ

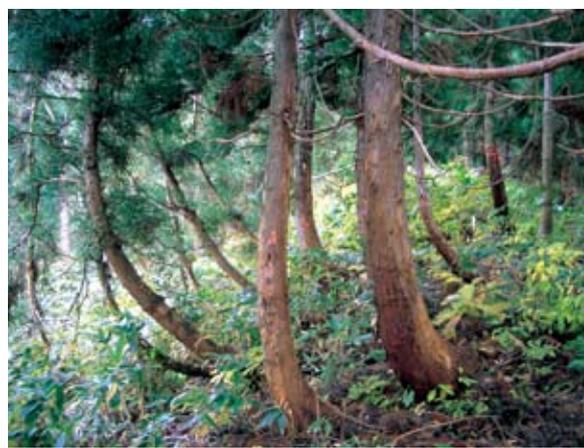
全試験区ともに雪害による枯損、幹曲りが発生していますが、品種系統別での被害状況や生長率に差が生じており目的とする系統別試験は成果が出ています。

飯山地方で広く植栽されているクマス

ギは生長率が比較的高く、幹曲り、現存率ともに中庸を示し、カナミダニスギについては生長量、現存率が高く根曲りも少ないことが分かりました。ミヨウケンスギ、タザワスギについては中庸で、イトシロスギについては、根曲り率は低いものの現存率が悪く生長率も低い結果と



試験地の概要 写真はミヨウケンスギ



タテヤマスギ

なっています。タテヤマスギは、根曲り率は高いが生長率、現存率ともに中庸でありました。この試験地は今後、五年毎の調査を行い、さらに生長過程を分析していくこととしていきます。

お知らせ

平成19年度中部森林技術交流発表会の開催について

中部森林管理局では、国有林・民有林・大学・NPO等が日頃から取り組んでいる森林・林業に関する試験研究、体験活動の内容等について発表し、関係者の交流を深めるとともに、更なる森林・林業の推進とこれら成果の普及に資するため、中部森林技術交流発表会を下記のとおり開催します。

記

- 1 日時 平成20年2月7日（木）～8日（金）
- 2 場所 長野市大字栗田715-5 中部森林管理局 大会議室
- 3 担当 指導普及課（電話052-3160-6579）